



産婦人科クリニックさくら

桜井 明弘 院長
長谷川 俊恵 看護師長

神奈川県横浜市青葉区新石川

診療科名 産婦人科

採用項目 hCG、LH、FSH、エストラジオール、
プロゲステロン



迅速診断が求められる臨床現場。パスファーストによる迅速検査は当院の診療に不可欠。

体外受精の日程選択や妊娠判定などには パスファーストならではの迅速検査*が欠かせません。

産婦人科クリニックさくらには どのような特徴がありますか。

桜井院長 (以下、院長) : 当クリニックは人工授精やタイミング指導などの「一般不妊治療」から、体外受精、顕微授精、受精卵の凍結保存などの「生殖補助医療」を含む不妊治療全般と、昨今「ウイメンズヘルスケア」と呼ばれる月経困難症や更年期障害、GSM(閉経関連尿路生殖器症候群)の治療を一貫して行っています。特に不妊治療は、私が以前にいた大学病院や出向していた病院でも専門としており、いつか自分のクリニックで生殖補助医療に携わりたいと思って15年前に開院しました。

パスファースト導入のきっかけを 教えてください。

院長 : 以前からホルモン値測定に使用していた機械が老朽化

し、新しいものを探していたときに学会でパンフレットを入手してパスファーストを知りました。前機は採血後に遠心分離機で血清にしてから測定する必要がありましたが、パスファーストは全血のまま測定できます。当クリニックでは看護師が採血から検査まで行ってくれていますので、手間や感染のリスクを減らして負担軽減になることも機種選定のポイントになりました。

現在どのようにパスファーストを お使いですか。

院長 : 主に不妊治療において、ホルモン値の迅速測定が必要な場合にパスファーストを使用しています。具体的には採卵日を決めるときや妊娠判定の際に使用していて、当院では不妊治療で来院される患者さんの約1割に、1周期あたり2、3回検

* 院内にて検査を行い当日中に結果が分かる検査のこと (裏面へ続く)

查を行っています。平均、1日あたり3～4名の患者さんにこの検査を実施しています。

体外受精では、まず超音波で卵巣にある卵胞の大きさを検査します。仮に卵胞の大きさが採卵に十分でも中の卵が未成熟ということもあるので、パスファーストでエストラジオール (E₂) を測定し、卵の成熟度を確認します。測定値が低ければ排卵誘発剤を使用してさらに卵を育て、数日後に再度採血してE₂を測定します。



いい卵だとE₂は上昇していきますのでそれを確認して、最終的に採卵する日を決めています。

妊娠判定では、薬局などで市販されている尿での検査法が一般的ですが、これは陽性が陰性かだけの定性検査です。しかし尿はその日の水分摂取量などにより濃度が高い時も低い時もありますから、正確な判定は困難です。その点、血液を使用した定量検査ではホルモン値 (hCG) は、体内の水分量に左右されずほぼ一定ですから正確な判定が行えます。

このように測定値をベースにして、その場で患者さんへの指導や治療方針を決める必要があるため、その日のリアルなデータが得られる迅速検査は当院の診療に欠かせません。

パスファーストの使い勝手や使用感はいかがですか。

長谷川看護師長:パスファーストは、いま5名の看護師全員で検査を行える体制となっています。操作はシンプルで、一度説明をすればみんなすぐに使用できますので、使い勝手はいい

と思います。また、前機は月に1回、昼休憩の時間や診察後に検査機器の洗浄を行っていましたが、パスファーストでは洗浄液などがすべてカートリッジの中に入っているため、洗浄や廃液処理を行う必要がなく大変助かっています。ただパスファーストは28日に1回、較正 (キャリブレーション) という作業が必要ですが、操作自体は簡単に行えます。

採血量に関しても、以前の検査機器では遠心分離にかける必要があったため6mLのスピッツで採血を行っていましたが、パスファーストは全血で検査が行える分、2mLスピッツの採血量で検査が可能であり、患者さんの負担軽減につながっています。

今後のクリニックをどのようにしていきたいですか。

院長:他院では妊娠できなかった方が当院に来られ、当院で妊娠・出産できたと言われることが私たちの無上の喜びでありそこに達成感も生まれます。一方、患者さんは妊娠前の方だけでなく、年々出産が終わった世代の方々が増えてきます。それに応じて訴えられる症状や疾患も更年期障害やGSMなど変化してきており、今後は、出産する世代以降の女性にも広くカバーして“いつまでも健康で若々しく楽しく過ごしてもらおう”というところに「診療の目線」を向けていこうと考えています。

これからのパスファーストに期待することは何でしょうか。

院長:検査機には「より早く」ということが求められると思います。いまより5分だけでも早くなるととてもありがたいです。「血液中の僅かな量を精度よく迅速に」というのが大変難しいことは承知していますが、それにより患者さんの待ち時間をより短く、診療がよりスムーズになることを期待しています。



移動式免疫発光測定装置 パスファースト
PATHFAST®

この施設で使用している製品は

製品情報は
こちら



血液検査用ヒト絨毛性腺刺激ホルモンキット
パスファースト®HCG preg
血液検査用黄体形成ホルモンキット
パスファースト®LH
血液検査用卵胞刺激ホルモンキット
パスファースト®FSH

エストラジオールキット
パスファースト®Estradiol
プロゲステロンキット
パスファースト®Progesterone

体外診断用医薬品

一般医療機器 特定保守管理医療機器

PHC株式会社 診断薬事業部

お問い合わせ先 インフォメーション TEL 03-6865-2500
URL <https://www.phcd.com/jp/ivd/>

使用上の注意につきましては添付文書をご参照ください。

231201-003 2B2312RIX-01 2023年12月作成